

令和元年1～7月の交通死亡事故の発生状況

◆前年同期比で4件増加◆

※速報・当社調べ・7/30現在

令和元年1月～7月 NEXCO東日本管内の死亡事故

《 **26件 (+4件)、28名 (+4名)** 》

◇主な事故形態 ⇒**単独事故が増加しています。**

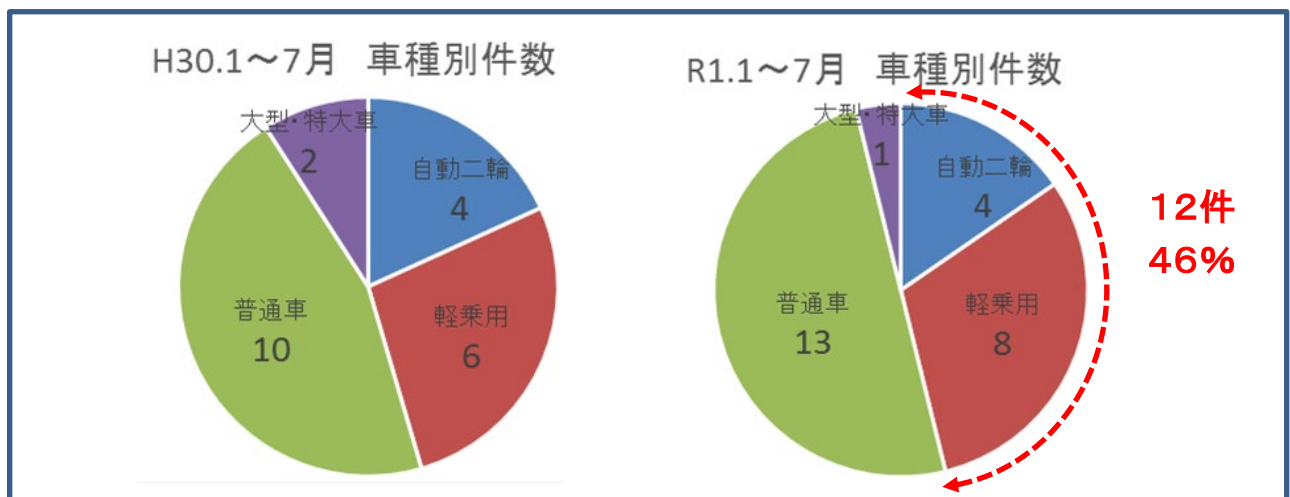
	R元年1～7月	H30年1～7月	増減
単独事故	11件・11名	4件・4名	+7件・+7名
走行車両衝突	12件・14名	7件・9名	+5件・+5名
その他(対人等)	3件・3名	11件・11名	△8件・△8名
合計	26件・28名	22件・24名	+4件・+4名

注：7/30現在

◇車種別 ⇒**自動二輪+軽自動車(※)で約半数(46%)を占めています。**

- 自動二輪 **4件、4名** (前年同期：4件、4名)
- 軽乗用 **8件、9名** (前年同期：6件、8名)
- 普通車 13件、14名 (前年同期：10件、10名)
- 大型車・特大車 1件、1名 (前年同期：2件、2名)

※参考：自二+軽・・・通行台数の割合：H30約13%



◇お客さまへ安全運転のお願い◇

●漫然運転・わき見運転をしない！

長時間運転すると、疲労が蓄積し、緊張感が緩み、漫然運転や、わき見運転を誘発することがあります。前方への注意を欠かさずに、緊張感を持った走行をお願いいたします。疲労を感じたら、サービスエリア・パーキングエリアでしっかり休憩し、ゆとりを持って、安全速度での走行をお願いします。

なお、本年の当社管内では減少していますが、高速道路上で「停止車両」や「人」に衝突する死亡事故が発生しています。通常、高速道路の本線上に、車両が止まっていたり、人が立っていたりすることはありませんが、事故や故障等により、こういった事態が発生していることがあります。

●自動二輪の運転に注意！

自動二輪は雨や風など天候による影響を受けやすく、事故の際に体を守るものがないため、重大な事故に繋がりがやすくなります。出発前や休憩の際にはこまめに天候をチェックし、道路状況に応じた安全な速度での走行をお願いいたします。また、長時間にわたり同じ姿勢で風に晒されるため、疲労がたまりやすくなります。意識してサービスエリア・パーキングエリアに立ち寄り、定期的な休憩を取るようお願いいたします。

●全部の座席でシートベルト着用！

シートベルトは衝突の際、車内にてハンドルやフロントガラスに胸や頭をぶつける二次衝突や車外放出を防止します。特に、ご家族での帰省や行楽にお出かけになる機会の増えることとしますので法律に基づき、**運転席・助手席だけでなく後部座席も必ず着用してください。**